



第52回沼津市芸術祭「書道展」の開催及び審査結果のお知らせ

要 旨

芸術祭「書道展」受賞者発表

第52回沼津市芸術祭「書道展」部門において、9月30日（火）に審査を行った結果、別紙のとおり各賞が決定しましたので、審査結果をお知らせします。

なお、現在、受賞作品を含む全出品作品を下記のとおり展示中です。

概 要

●第52回沼津市芸術祭「書道展」の概要

開催期間：令和7年10月1日（水）～10月5日（日）

10:00～18:00（最終日は16:00まで）※入場無料

場 所：プラサヴェルデ2F 市民ギャラリー

出品作品数：88点（招待作品も含む）

●第52回沼津市芸術祭「書道展」を含む展示部門及び文芸部門の受賞の表彰を下記のとおり行います。

表彰式：令和7年11月16日（日）

14:00 から

会 場：プラサヴェルデ

コンベンションホール A

お問い合わせ先

沼津市教育委員会事務局 文化振興課 文化政策室
直通：055-934-4812



Proud NUMAZU

令和7年度 第52回沼津市芸術祭 書道展審査結果報告

◇ 書道展

	点数
審査員作品	3点
招待作品	3点
委嘱作品	18点
一般公募作品	50点
一般公募(高校生)	14点
合計	88点

◇ 審査日 令和7年9月30日(火)

◇ 審査員 成田真洞 小野光倫 池谷天外

芸術祭賞1点、市長賞1点、市議会議長賞1点、教育長賞1点、奨励賞5点、新鋭賞2点
本年は高校生から14点の出品があり、2点が新鋭賞として入賞した。

	題 名	氏 名	住所等
芸術祭賞	君が家に	麻生 菁勝	三島市南町
市長賞	丹	高橋 直嗣	沼津市南本郷町
市議会議長賞	王維詩	田村 恵翠	沼津市吉田町
教育長賞	俳	細金 春風	沼津市日の出町
奨励賞	耳をすませば	鈴木 礼華	富士市西柏原新田
奨励賞	梅の初花	鈴木 菁秀	裾野市平松
奨励賞	蛇笏句	朝井出 桃子	沼津市大岡
奨励賞	謝恵連詩	三須 象山	沼津市東椎路
奨励賞	許渾詩	杉山 真翠	沼津市西間門
新鋭賞	臨 香紙切	遠藤 愛子	県立沼津西高等学校2年
新鋭賞	臨 王羲之尺牘想至帖	瀬戸 紀華	市立沼津高等学校1年

総評

応募点数に若干の減少はあったが、各部門多彩な表現の力作が寄せられた。中央で活躍している作家から、趣味で書作に取り組んでいる方まで様々だが、皆さん真摯に書と向き合っているのが感じられて審査を行うのが大変であった。

展覧会出品作と言うと変化のある目立つ表現を追いがちだが、基礎基本をしっかりと学び、オーソドックスな作品作りからスタートすることも必要であろう。

高校生の出品が14点あったことも喜ばしい。若い人たちが書に興味を持ち、書を楽しんで書くことが書の活性化にも結びついていく。先生方のご指導に期待する。

審査短評

芸術祭賞『君が家に』

和歌三首を全紙に効果的に散らした秀作である。しなやかで強靱な線は出品作の中で群を抜いていた。潤濁のコントラストと行間の工夫が作品に表情をつけ、中央部の表現の盛り上がり方が作品に生命を与えている。

市長賞『丹』

淡墨を効果的に使い、にじみと白を生かした作品に仕上がっている。二画目の縦画が柱となって文字をしかりと支え、最終画の大胆な渴筆が見る人をハッとさせる。作者の非凡な感性が感じられる。

市議会議長賞『王維詩』

王維の五言律詩を三行にうまくまとめている。筆先が紙面にしっかりと食い込み張りのある線質で伸びやかさが感じられる。文字の大小と共に線の太さにも気を配り、リズム良く書き進められた佳作である。

教育長賞『俳』

人偏の墨量を増やして密度の濃い部分を作る一方、右半に渴筆を大胆に配して目を引く構成となっている。右側上部の飛沫が動きを感じさせ、最後の一画が作品を安定させている。バランス感覚が体現された作である。